

こんにちは！川前地区地域おこし協力隊の長郷優佳です。
毎月20日の文書配布日に合わせて発行している「えんむすび新聞」ですが、Facebook ページ「川前町振興対策協議会」でも画像を投稿しています。ぜひご覧ください！

お問い合わせは
川前支所まで！
(TEL 0246-84-2111)

「恋愛リスク」について

恋愛や結婚を経験していく上で、気をつけなければならないリスク（危険）が存在します。いくつかの例をご紹介します！

対人力が最も試される恋愛や結婚では、様々なトラブルが発生してしまう場合があります。特に、認知機能（記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断）が弱く、感情のコントロールが苦手な相手との距離を上手く縮められない（知的・発達・精神などの）障害を持った人が性犯罪を起こす場合もありますが、**年齢性別問わず、「誰もが」恋愛リスクの「加害者にも被害者にもなり得る」可能性**があります。

相手とのコミュニケーションや生活を経験することで、自分を知ることができます。**「相手が嫌がることはしない」「相手の立場になって考える」「嫌なことは断る」**ことが、好きな相手と良好な関係を築くための第一歩です。

【ストーカー】

1999年に起こった、女子大生が元交際相手に殺害された事件を契機に、翌年にストーカー規制法が制定されました。ストーカーとは、**特定の人につきまとう行為**です。元夫婦・元交際相手という関係性での被害が多く、近年は、SNS上での監視や暴言など、インターネットを通じた被害も増えています。「相手は絶対に自分を好きである」という証拠のない一



方的な思い込みで、相手に自分との関係性を築くことを強要します。一般的に、ストーカー行為の発端は、**相手からの拒絶に対する過度な反応**だと言われています。

【リベンジポルノ】

2013年に起こった、女子高生が元交際相手からのストーカー被害に遭い、殺害された上、交際中に撮られた裸の写真などをネット上に投稿された事件を契機に、広く知られるようになりました。翌年、リベンジポルノ被害防止法が制定されました。リベンジポルノとは、**元交際相手の裸の写真や動画などを、ネット上に流出させる行為**です。加害者達は、**別れへの怒りや、復縁の不成立に対する腹いせ**など、一



方的かつ自己中心的な理由で、被害者の生活や精神を脅かします。多機能なカメラ携帯電話が普及したことも、問題増加の原因の1つだとも言われています。

【セクハラ（セクシュアルハラスメント）】

セクハラとは、**相手の意思に反する性的な言動のこと**を指します。また、仕事をする上での不利益を与えたり、職場の環境を悪化させたりする性的な言動も含まれています。「断りにくい」「言い出しにくい」**弱い立場の人や、若い世代に対し、立場や年齢が上の人**が不適切な言動をしてしまう場合が一般的です。特に、体型や服装、恋人の有無など、個人的な部分



についての発言は相手を不快にさせてしまう場合が多いです。**加害者は無自覚で性的な言動を繰り返すため、周囲は大きなストレスを感じてしまいます。**

【DV（ドメスティック・バイオレンス）】

DVとは、**配偶者や交際相手など、親密な関係にある人からの振られる暴力のこと**です。殴る・蹴るといった**身体的な暴力**だけではなく、人前で叱ったり、大声で怒鳴ったりする**精神的な暴力**、性行為を強要などの**性暴力**、借金を負わせる**経済的暴力**、交友関係を管理する**社会的暴力**なども含まれます。多くの暴力は日常生活の中で起こっているため、周囲に気付かれにくく、長期間繰り返し被害を受け、深い恐怖や不安を抱えている被害者が多くなっています。そのため、**被害者は離れることができず、支配・被支配の関係性が続いてしまいます。**

